



宮崎大学履修証明プログラム

宮崎大学 420 単位時間日本語教員養成プログラム

2019 年度 募 集 要 項

令和元年 7月1日

国立大学法人 宮崎大学
国際連携センター

目次

I.	特徴.....	3
1.	履修証明プログラムによる国立大学法人初の日本語教員養成研修.....	3
2.	目指す日本語教員像.....	4
3.	充実したカリキュラムと講師陣.....	4
II.	概要.....	6
4.	対象者.....	6
5.	講義.....	6
6.	カリキュラム.....	8
7.	受講料等.....	10
III.	受講申し込み方法.....	11
8.	申込みから受講までの流れ.....	11
9.	申込み書類の準備.....	11
10.	申込み.....	11
11.	申込み受理確認.....	12
12.	受講料.....	12
13.	便覧.....	12
14.	その他.....	12

I. 特徴

1. 履修証明プログラムによる国立大学法人初の日本語教員養成研修

1.1. 日本語教員の資格

日本語教育機関の告示基準では、日本語教育機関で日本語教育に携わる全ての教員が、次の①～⑤のいずれかに該当する者、としています。これは、日本語修得を目的とした海外からの留学生等を受け入れることのできる日本語学校等において日本語教育を行う教員の資格です。したがって、これが一般的な「日本語教員の資格」となっています。

- ① 大学（短期大学を除く。以下において同じ。）又は大学院において日本語教育に関する教育課程を履修して所定の単位を修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者。
- ② 大学又は大学院において日本語教育に関する科目の単位を26単位以上修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者。
- ③ 公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格した者
- ④ 学士の学位を有し、かつ、日本語教育に関する研修であって適当と認められるものを420単位時間以上受講し、これを修了した者。
- ⑤ その他①から④までに掲げる者と同等以上の能力があると認められる者。

このうち、①②は大学等に入学し、所定の課程を修了する必要があります。一方、例外的な⑤を除く③④は、社会人など大学の課程に在籍しない方でも取得可能です。しかし、③は試験の難易度の高さもありますが、日本語教育に要する広範な内容を独学で修得することは難しく、また実際の教育現場での指導に向けては知識だけでなく専門的な学びや実習の経験が必要です。そこで、社会人で日本語教員を目指す方の多くが④の420単位時間の受講を経て資格を取得しています。

（日本語教育機関の法務省告示基準第1条第1項第13号に定める日本語教員の要件について
http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/kyoin_kenshu/

1.2. 国立大学法人唯一の日本語教員養成研修

「宮崎大学420単位時間日本語教員養成プログラム（以下、本プログラム）」は、「日本語教育機関の告示基準」（平成28年7月22日法務省入国管理局策定）第1条第1項第13号ニに規定する日本語教員の要件として適当と認められる研修について届出を受理された日本語教員養成研修実施機関・団体として、文化庁に届出が受理されました（届出受理番号：R01062645001 令和元年6月26日）。115ある日本語教員養成研修実施機関・団体の中で、唯一の、社会人に開かれた国立大学法人の日本語教員養成研修です。

（日本語教員養成研修実施機関・団体（令和元年6月28日確認）
http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/kyoin_kenshu/pdf/kyoin_kenshu_list.pdf

1.3. 履修証明プログラム

本プログラムは、学校教育法に則った履修証明制度に基づく「履修証明プログラム」です。履修証明制度とは、大学等が社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、修了者に対して法に基づく履修証明書（Certificate）を交付できることとした制度です。履修証明プログラムは、各種資格の取得と結び付けて開講できることから、本プログラムでは文化庁届出の日本語教員養成研修として開講しています。したがって、本プログラムの修了者には、420単位時間日本語教員養成研修の修了証書だけでなく、大学からの正式な「履修証明書」が交付されます。

（履修証明制度 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/

2. 目指す日本語教員像

2.1. 目的

文化庁が示す「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（平成30年3月）」の中で、日本語教育人材役は次の3つに整理されています。本プログラムでは、このうち①日本語教師の養成を目的としたカリキュラムを組んでいます。

- ① 日本語教師：日本語学習者に直接日本語を指導する者
- ② 日本語教育コーディネーター：日本語教育プログラムの策定・教室運営・改善、日本語教師等に対する指導・助言を行うほか、多様な機関との連携・協力を担う者（日本語教師の中堅や主任教員に相当）
- ③ 日本語学習支援者：日本語教師や日本語教育コーディネーターと共に日本語学習者の日本語学習を支援し、促進する者

2.2. 目標

同「日本語教育人材の養成・研修の在り方について」では、「日本語教育人材に求められる資質・能力」として、日本語教育人材、および専門家としての日本語教師について、それぞれ次のように示しています。これらの示すところは、日本語教員とは単に「日本語を教える人」ではなく、「日本語教育の専門家」であるということです。本プログラムでは、これらを意識した専門性の高い講師陣によるカリキュラムを提供します。

- 1) 日本語教育人材に共通して求められる基本的な資質・能力
 - ① 日本語を正確に理解し的確に運用できる能力を持っていること。
 - ② 多様な言語・文化・社会的背景を持つ学習者と接する上で、文化的多様性を理解し尊重する態度を持っていること。
 - ③ コミュニケーションを通じてコミュニケーションを学ぶという日本語教育の特性を理解していること。
- 2) 専門家としての日本語教師に求められる資質・能力
 - ① 言語教育者として必要とされる学習者に対する実践的なコミュニケーション能力を有していること。
 - ② 日本語だけでなく多様な言語や文化に対して、深い関心と鋭い感覚を有していること。
 - ③ 国際的な活動を行う教育者として、グローバルな視野を持ち、豊かな教養と人間性を備えていること。
 - ④ 日本語教育に関する専門性とその社会的意義についての自覚と情熱を有し、常に学び続ける態度を有していること。
 - ⑤ 日本語教育を通じた人間の成長と発達に対する深い理解と関心を有していること。

（日本語教育人材の養成・研修の在り方について（平成30年3月2日）

http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/ikenboshu/nihongoiken/1404310.html）

3. 充実したカリキュラムと講師陣

3.1. カリキュラム

本プログラムは、文化庁指針や法務省告示に基づく3領域・5区分・16下位区分に完全に対応しています。そして、420単位時間のうち、219単位時間を「言語教育法・実習」に充てており、理論だけでなく、教育実践能力に充填を置いています。

また、日本語教育能力検定試験にも対応した内容となっています。試験に合格するために必要なポイ

ントを分かりやすく指導・助言します。

3.2. 地域連携

本プログラムでは、国立大学法人宮崎大学（国際連携センター）と、学校法人宮崎総合学院（宮崎情報ビジネス医療専門学校日本語科）が連携して指導を行います。これにより、実践的かつ専門性の高い講義、実習を提供します。

3.3. 講師陣

次のような経験豊富、気鋭の講師陣が指導にあたります。また、専門性の高い実力派特別講師を招聘しての講義も行います。

- ・ 宮崎大学： 9名
寺尾智史（准教授）、伊藤健一（准教授）、杉村佳彦（講師）、岡林 稔（名誉教授・元副学長）、長友和彦（名誉教授・客員教授）、井上修一（元助教授）、平瀬 清（元助教授）、和田 恵（非常勤講師）、工藤 浩（非常勤講師）
- ・ 宮崎総合学院宮崎情報ビジネス医療専門学校（日本語科）： 3名
山中鉄斎（日本語科長）、森永恭代（専任教員、教務主任）、有馬こず恵（専任教員）
- ・ 特別講師： 4名
荻野次信（株式会社教育情報サービス代表取締役）
森山 新（お茶の水女子大学大学院教授）
平高史也（慶應義塾大学教授）
中川千恵子（國学院大學大学院兼任講師）

3.4. 修了後

十分な成績で修了し、実践可能な修了者には、日本語教育の機会を紹介する予定です。

- ・ 宮崎大学サマープログラム（3週間、毎年7月）等での短期留学生クラスの日本語指導。
 - ・ 短期留学プログラムにおける外国人留学生等への日本語指導。
 - ・ 海外大学等における日本語教育支援。
 - ・ その他、地域の日本語学習者向け日本語支援。
- （ただし、対象により日本語教育能力の他に語学等の要件に関する適正審査あり）

II. 概要

4. 対象者

4.1. 受講資格

- ① 高等学校を卒業している者*
- ② ①と同等以上の学歴を有する、あるいは学校教育を修了している者
- ③ その他、本学が認める者
(*但し、法務省告示の日本語教育機関の教員を目指す場合は大学卒業の学位「学士」が必要になります。)

4.2. その他の受講要件

- ① 日本語が母語ではない方の場合
下記のいずれかの条件を満たすこと。
 - 1) 4.1.とは別に、日本語能力試験（JLPT）N1、あるいは同等以上の試験に合格している者。
 - 2) 上記と同等以上であり、修学が可能と判断される者。

4.3. 定員

- ・ 30名
 - 申込み者多数の場合、定員に達した時点で締め切ることがあります。
 - 最低開講人数（10名）に満たない場合は、開講しない場合があります。

5. 講義

5.1. 実施形態

- ・ 通学制

5.2. 期間

- ・ 第1期：2019年8月1日～2020年5月31日（10ヶ月）
 - なお、第2期（2020年度）第3期（2021年度）以降については、下記の日程を予定。
 - ・ 第2期：2020年6月1日～2021年3月31日（10ヶ月）（予定）
 - ・ 第3期：2021年4月1日～2022年1月31日（10ヶ月）（予定）
以降、4月～1月（10ヶ月）を予定

5.3. 時間

- ・ 授業日時
 - 通常講義： 月・火・木 18:15～20:40（3単位時間）×112回 336単位時間
 - 集中講義： 土 9:30～15:55（6単位時間）×14回 84単位時間合計：420単位時間
- ・ 単位時間
1単位時間は、45分です。

5.4. 場所

- ・ 講義と実習に分かれて、主に下記で開講されます。
 - 講義： 宮崎大学木花キャンパス、まちなかキャンパス
 - 実習： 宮崎総合学院 宮崎情報ビジネス医療専門学校
- ・ 実習等の一部授業は、実習に協力する日本語学習者に合わせて場所と時間に変更となる場合があります。

・ 各場所の詳細は次の通りです。

① 宮崎大学木花キャンパス

〈所在地〉 〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1 宮崎大学教育学部棟 講義室

〈最寄りの公共交通機関〉 JR 日南線木花駅、宮交バス宮崎大学バス停

〈駐車場〉 あり（無料）

② 宮崎大学まちなかキャンパス

〈所在地〉 〒880-0805 宮崎市橋通東 3 丁目 4-36 村武ビル 1 階（若草通りアーケード内）

〈最寄りの公共交通機関〉 JR 日豊本線宮崎駅、宮交バス橋通 3 丁目バス停

〈駐車場〉 なし（自家用車でお越しの際は、近隣の有料駐車場等をご利用ください。）

③ 宮崎総合学院 宮崎情報ビジネス医療専門学校

〈所在地〉 〒880-801 宮崎市老松 2-1-17 宮崎総合学院 10 号館

〈最寄り駅〉 JR 日豊本線宮崎駅

〈駐車場〉 あり（台数限りあり。駐車場が満車の場合は近隣の有料駐車場等をご利用ください。）

5.5. 日程

講義の開講日程は次の通りです。

	日	月	火	水	木	金	土
2019 年					1	2	3
8 月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
9 月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
10 月	29	30	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
11 月	27	28	29	30	31	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
12 月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
2020 年	29	30	31	1	2	3	4
1 月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
2 月	26	27	28	29	30	31	1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
3 月	23	24	25	26	27	28	29
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
4 月	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
5 月	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

講義日

予備日

6. カリキュラム

6.1. 領域・区分・科目名・担当講師・単位時間

文化庁指針や法務省告示に基づく 3 領域・5 区分・16 下位区分に対応した科目となっています。また、科目により授業回数（単位時間数）が異なります。

文化庁区分			宮崎大学 420 単位時間日本語教員養成プログラム			
領域	区分	16 下位区分	科目名	担当講師	単位時間	
社会・文化・地域に関わる領域	社会・文化・地域	① 世界と日本	世界と日本	岡林	6	
		② 異文化接触	異文化接触・異文化理解と心理	寺尾	6	
		③ 日本語教育の歴史と現状	日本語教育の現状と歴史	杉村	6	
	平高			6		
	言語と社会	④ 言語と社会の関係	言語と社会の関係	井上	9	
		⑤ 言語使用と社会	言語使用と社会	杉村	6	
		⑥ 異文化コミュニケーションと社会	異文化間コミュニケーション教育	寺尾	3	
	言語と心理	⑦ 言語理解の過程	言語理解の過程	平瀬	6	
		⑧ 言語習得・発達	言語習得・発達	長友	12	
		⑨ 異文化理解と心理	異文化接触・異文化理解と心理	寺尾	6	
	教育に関わる領域	言語と教育	⑩ 言語教育法・実習	日本語教授法	杉村	6
					工藤	3
言語教育の基本				杉村	6	
				工藤	3	
日本語教育の実践1 (コースデザイン)				杉村	6	
				森永	3	
				有馬	3	
				工藤	3	
日本語教育の実践2 (初級指導)				杉村	6	
				森永	12	
				有馬	12	
				和田	12	
日本語教育の実践3 (中級・上級指導)				杉村	3	
				森永	3	
				有馬	3	
				和田	6	
				工藤	3	
日本語教育の実践4 (技能別指導)				杉村	3	
	森永	3				
	有馬	3				
	和田	6				
教育実習	杉村	9				
	森永	30				
	有馬	30				

言語に関わる領域			評価法	和田	15
				工藤	15
				杉村	6
				森永	3
				有馬	3
	⑪ 異文化間教育とコミュニケーション教育	異文化間コミュニケーション教育	寺尾	9	
	⑫ 言語教育と情報	言語教育と情報	伊藤	6	
			荻野	3	
	⑬ 言語の構造一般	言語の構造一般	長友	12	
	⑭ 日本語の構造	日本語の構造	日本語分析	長友	15
			音韻・音声	寺尾	12
				中川	6
			文字・表記	寺尾	18
			形態・語彙・意味	杉村	18
			日本語教育文法	長友	24
	森山	6			
⑮ 言語研究	-	-	-		
⑯ コミュニケーション能力	コミュニケーション能力	寺尾	6		
				420	

6.2. 成績評価

全 420 単位時間（26 科目）を受講後、科目ごとに成績評価を行います。
試験の評点は、100 点とします。

- ・ 講義科目の評価
 - 各科目の終了時に筆記試験を行い、その結果に基づき評価します。
 - 秀、優、良、可を合格とし、不可は不合格となります。
- ・ 教育実習の評価
 - 模擬授業と教壇実習を担当講師が以下の評価基準により評価します。
 - 秀、優、良、可を合格とし、不可は不合格となります。

6.3. 受講・学習支援

- ・ 欠席の補充および休講時の対応
 - 欠席者に対して、録画された授業の受講による補充、および筆記試験や課題レポート提出の機会を与えます。
 - 休講の場合は、予備日に振り替える、あるいは上記と同様に録画された授業による補充等を行います。
- ・ 保留の扱い
 - 不可ながら、評点が 30 点以上 59 点は保留とします。保留の者で希望した者に対しては再評価を実施します。

6.4. 修了要件

- ・ 成績： 全 26 科目について合格すること。

7. 受講料等

7.1. 受講料

- ・ 受講料： 490,000 円
 - 入学金なし
 - 教材費用込み (約 47,000 円)
 - 駐車場無料 (宮崎大学木花キャンパス)
 - 分割支払いあり

7.2. 教育訓練給付金について

本プログラムは、2019年開講の第1期については教育訓練支援給付金制度の対象になっていません。第2期より対象となるように手続きを進めていく予定です。

7.3. 教材

教科書および配布物は受講料に含まれます。教科書はオリエンテーションの際に配布の予定です。

III. 受講申し込み方法

8. 申込みから受講までの流れ

- ① 募集要項 配布： 2019年7月1日（月）～
- ② 申込み： 2019年7月1日（月）～ 2019年7月16日（火）（必着）
- ③ 申込み受理確認： 申込み受理后、5日以内。
- ④ 受講料納入： 2019年7月22日（月）～ 2019年7月31日（水）（分割は前期分のみ）
- ⑤ 便覧送付： 7月下旬
- ⑥ 受講開始： 2019年8月1日（木）～ 場所：初回は宮崎大学木花キャンパス

9. 申込み書類の準備

9.1. 申込み書類

- ① 申込書（所定の様式）
- ② 履歴書（所定の様式）
- ③ 履歴書に記載の最終学校または高等学校以上の卒業（修了）証明書の写し、あるいは高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）の合格を示す書類等の写し、またあるいはそれらを証明できるもの。
- ④ 日本語が母語でない方は、日本語能力試験（JLPT）等の合否通知または認定証などの写し、または日本語能力を確認できるもの。

9.2. 様式、記入方法

- ・ 所定の様式は、下記よりダウンロードしてください。
Website <https://jltec.vss.miyazaki-u.ac.jp/>
- ・ 自署、押印の箇所を除き、様式に従って全てパソコンで入力。

10. 申込み

10.1. 申込み受理期間

- ・ 2019年7月1日（月）～ 2019年7月16日（火）（必着）

10.2. 申込み方法

- ・ 下記2つの方法の両方で書類を送付してください。
 - 1) 電子メール
 - ・ 様式は、記入後、下記の件名で指定アドレスまで送付。
 - ・ 件名： 日本語教員養成プログラム申込み（氏名）
 - ・ 指定アドレス： jltec@cc.miyazaki-u.ac.jp
 - 2) 郵送
 - ・ 様式を印刷し、所定の箇所に押印、署名後、申込み書類一式を下記住所まで郵送。
 - ・ 住所： 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学 国際連携センター Tel：0985-58-7851
 - ・ 封筒に、「教員養成プログラム申込み書類在中」と朱書き。
 - ・ 但し、持参する場合はその限りではない。

11. 申込み受理確認

- ・ 申込を受理後、担当より送信メールに返信。
- ・ 申込後、5日間以内に返信の無い場合、不達の可能性があるため、お問い合わせください。

12. 受講料

12.1. 金額

① 一括

➤ 490,000円

- ・ 入金期間：： 2019年7月22日（月） ～ 2019年7月31日（水）

② 分割

➤ 一括と同じ金額を、下記2回に分割納入。

1) 前期： 240,000円

- ・ 入金期間：： 2019年7月22日（月） ～ 2019年7月31日（水）

2) 後期： 250,000円

- ・ 入金期間：： 2019年12月16日（月） ～ 2019年12月27日（金）

12.2. 支払い方法の選択

- ・ 一括、分割の選択は、申込み書類に記載。

12.3. 納入方法

- ・ 銀行振り込み。
- ・ 納入方法： プログラム申込者（受講予定者）ご本人の名義で下記の口座にお振込ください。
- ・ 振込み先銀行口座
 - 宮崎銀行 清武支店 普通預金口座 57863
国立大学法人宮崎大学（ダイ）ミヤザキダイガク
- ・ 備考： 振込手数料はお客様のご負担となります。

12.4. 受講料の取り扱いについて

- ・ 一度納入された受講料につきましては、いかなる理由においても返金されません。
- ・ 分割の場合、申込が受理された時点で、全カリキュラムを受講することが前提となっております。したがって、後期に受講されない場合となりましても、後期受講料の納入が必要となります。

13. 便覧

- ・ 7月下旬に、pdf ファイルをメールにて送付。
- ・ 製本されたものを、開講時にもお渡しします。

14. その他

14.1. 個人情報保護の取り扱い

受領しました個人情報は、本プログラムに関係する案内、連絡等の他、申込者各位への日本語教育関連の情報提供の際に利用する場合があります。なお、宮崎大学の規定に基づき厳重に管理いたします。



【問い合わせ先】

宮崎大学 国際連携センター

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

E-mail: iltc@cc.miyazaki-u.ac.jp

☎ 0985-58-7851

※ご連絡の際は、E-mailでお問い合わせください。